

## 管内地域銀行の平成 30 年 3 月期決算の概要

### 1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益や債券等関係損益の減少等により、前年同期に比べ 3.92% の減益。
- 当期純利益は、株式等関係損益の増加等により、前年同期に比べ 0.23% の増益。

(単位：億円)

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	14,365	13,606	13,337	▲268	▲1.97%
資金利益	11,814	11,378	11,297	▲80	▲0.71%
役務取引等利益	1,914	1,774	2,003	+228	+12.90%
債券等関係損益	58	▲19	▲290	▲271	▲1,416.28%
うち、債券等償却(※)	▲3	▲6	▲1	+4	+70.61%
経費(※)	▲8,888	▲8,931	▲8,846	+85	+0.95%
実質業務純益	5,477	4,674	4,490	▲183	▲3.92%
与信関係費用(※)	▲134	▲280	▲343	▲63	▲22.54%
株式等関係損益	451	464	851	+387	+83.34%
うち、株式等償却(※)	▲23	▲6	▲7	▲0	▲9.71%
当期純利益	4,015	3,421	3,429	+7	+0.23%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金 (末残)	99.1 兆円	101.7 兆円	104.8 兆円	+3.0 兆円	+3.02%
貸出金 (末残)	73.4 兆円	75.7 兆円	78.3 兆円	+2.6 兆円	+3.49%

### 2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前年同期比
不良債権額	14,985 億円	13,921 億円	12,952 億円	▲968 億円
不良債権比率	2.02%	1.82%	1.63%	▲0.18 ポイント

### 3. 自己資本比率の状況

- 国際統一基準行の総自己資本比率は、前年同期に比べ上昇。
- 国内基準行の自己資本比率は、前年同期に比べ低下。

(国際統一基準行：4 行)

(国内基準行：19 行)

	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前年同期比
総自己資本比率	13.46%	13.86%	+0.40 ポイント
Tier 1 比率	12.84%	13.35%	+0.51 ポイント
普通株式等 Tier 1 比率	12.84%	13.35%	+0.51 ポイント

	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前年同期比
自己資本比率	10.00%	9.70%	▲0.30 ポイント

(注1) 管内地域銀行の集計対象は23行 (地方銀行13行、第二地方銀行9行及び埼玉りそな銀行)。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各行の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】

関東財務局理財部 金融監督第1課  
TEL 048-600-1145

## 管内信用金庫の平成 30 年 3 月期決算の概要

### 1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益や債券等関係損益の減少等により、前年同期に比べ 6.44%の減益。
- 当期純利益は、株式等関係損益が増加したものの、前年同期に比べ 4.37%の減益。

(単位：億円)

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	6,572	6,298	6,156	▲142	▲2.25%
資金利益	6,058	5,846	5,830	▲16	▲0.27%
役務取引等利益	299	275	263	▲11	▲4.30%
債券等関係損益	198	184	82	▲101	▲55.13%
うち、債券等償却(※)	▲14	▲1	▲2	▲1	▲99.74%
経費(※)	▲5,108	▲5,071	▲5,008	+63	+1.24%
実質業務純益	1,463	1,227	1,148	▲79	▲6.44%
与信関係費用(※)	▲321	▲240	▲245	▲5	▲2.12%
株式等関係損益	139	112	134	+21	+19.05%
うち、株式等償却(※)	▲3	▲1	▲0	+1	+98.09%
当期純利益	1,071	866	828	▲37	▲4.37%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金 (末残)	48.9 兆円	49.8 兆円	50.8 兆円	+1.0 兆円	+2.00%
貸出金 (末残)	24.9 兆円	25.7 兆円	26.6 兆円	+0.8 兆円	+3.31%

### 2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前年同期比
不良債権額	12,788 億円	11,766 億円	11,022 億円	▲744 億円
不良債権比率	5.10%	4.55%	4.12%	▲0.43 ポイント

### 3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は、貸出金の増加を主因とするリスクアセットの増加等により、前年同期に比べ低下。

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前年同期比
自己資本比率	10.92%	10.57%	10.28%	▲0.29 ポイント

(注1) 管内信用金庫の集計対象は72金庫。  
(注2) 計数は単体ベース。  
(注3) 今後、各金庫の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】

関東財務局理財部 金融監督第2課

TEL 048-600-1148

## 管内信用組合の平成30年3月期決算の概要

### 1. 損益の状況

- 実質業務純益は、債券等関係損益の減少等により、前年同期に比べ8.26%の減益。
- 当期純利益は、実質業務純益の減少等により、前年同期に比べ11.82%の減益。

(単位：億円)

	28年3月期	29年3月期	30年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	1,240	1,168	1,147	▲21	▲1.82%
資金利益	1,152	1,102	1,120	+18	+1.65%
役務取引等利益	▲17	▲20	▲20	+0	+2.51%
債券等関係損益	93	73	35	▲37	▲51.16%
うち、債券等償却(※)	▲0	▲0	0	+0	+100.00%
経費(※)	▲940	▲938	▲935	+2	+0.24%
実質業務純益	299	230	211	▲19	▲8.26%
与信関係費用(※)	▲41	▲47	▲48	▲1	▲3.49%
株式等関係損益	16	14	23	+8	+60.80%
うち、株式等償却(※)	▲0	▲0	▲0	▲0	▲14,974%
当期純利益	196	158	139	▲18	▲11.82%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	28年3月期	29年3月期	30年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金(末残)	8.4兆円	8.7兆円	8.9兆円	+0.1兆円	+1.99%
貸出金(末残)	4.1兆円	4.3兆円	4.4兆円	+0.1兆円	+4.03%

### 2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	28年3月期	29年3月期	30年3月期	前年同期比
不良債権額	3,063億円	2,793億円	2,553億円	▲239億円
不良債権比率	7.40%	6.47%	5.68%	▲0.79ポイント

### 3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は、貸出金の増加を主因とするリスクアセットの増加等により、前年同期に比べ低下。

	28年3月期	29年3月期	30年3月期	前年同期比
自己資本比率	12.98%	12.41%	11.92%	▲0.49ポイント

- (注1) 管内信用組合の集計対象は52組合。  
(注2) 計数は単体ベース。  
(注3) 今後、各組合の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】

関東財務局理財部 金融監督第3課

TEL 048-600-1254